

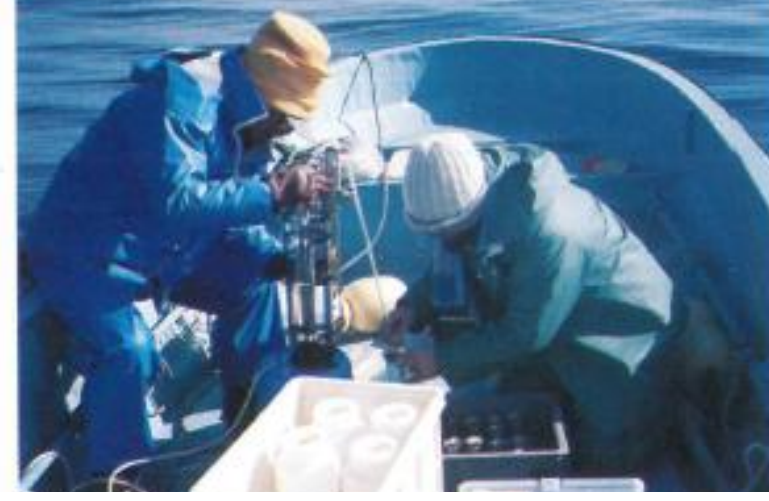
# 東日本大震災の津波により行方不明となった気仙沼水産試験場調査船「海翔」が5年3か月ぶりに里帰り!!

## 調査船「海翔」について

- ・平成9年にヤマハ大船渡製造（株）にて造船され、気仙沼水産試験場の船外機付き調査船として、宮城県北部海域の増養殖場の海洋環境調査などで活躍。
- ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波被害を受け、行方不明となっていた。

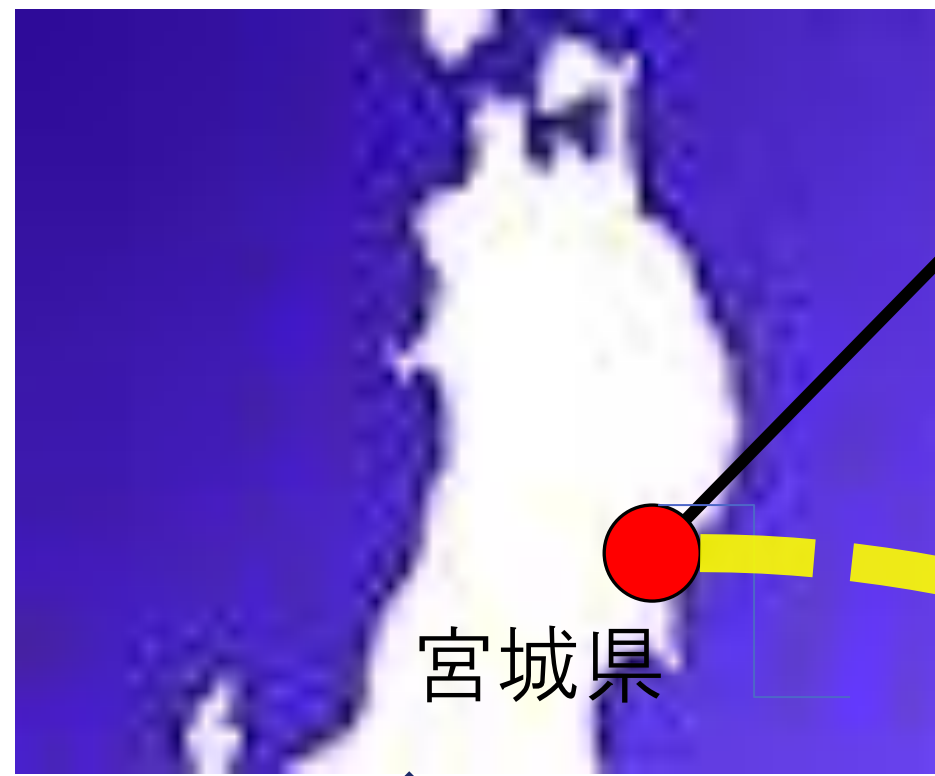
## スペック

総トン数：1.1トン  
 長さ×幅×高さ：6.32 m × 1.92 m × 0.72 m  
 馬力数：60 kW



「海翔」による漁場環境調査の様子

## 「海翔」の漂流経路



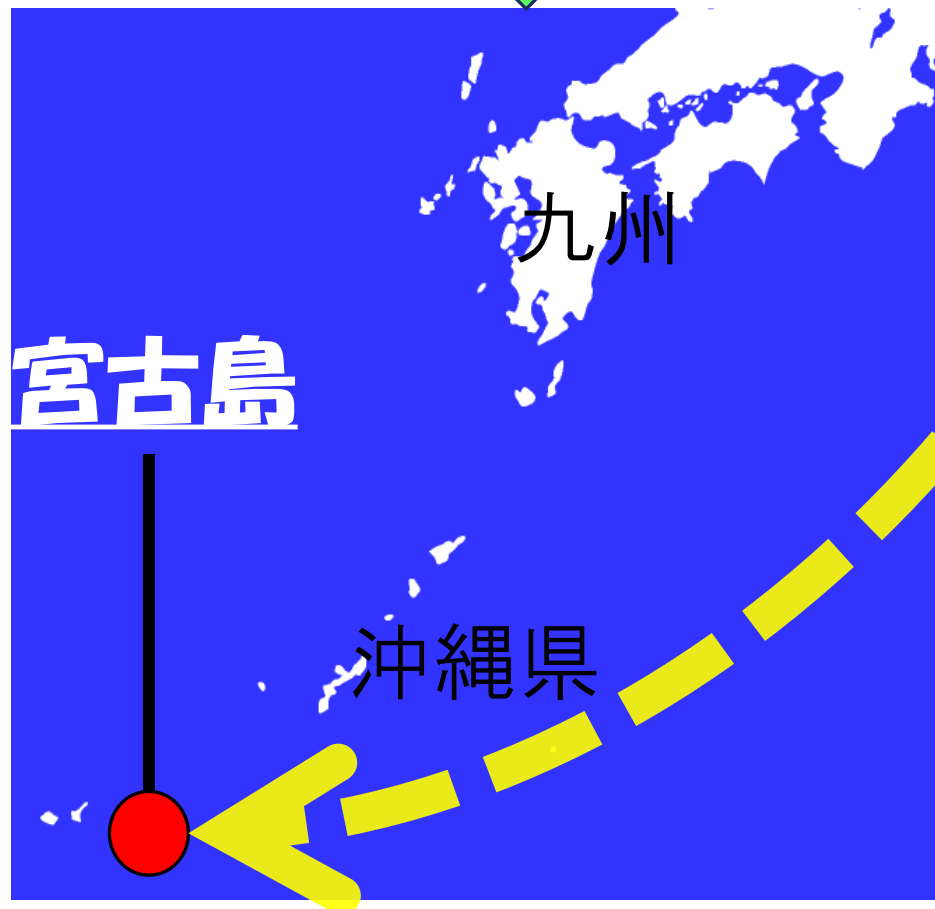
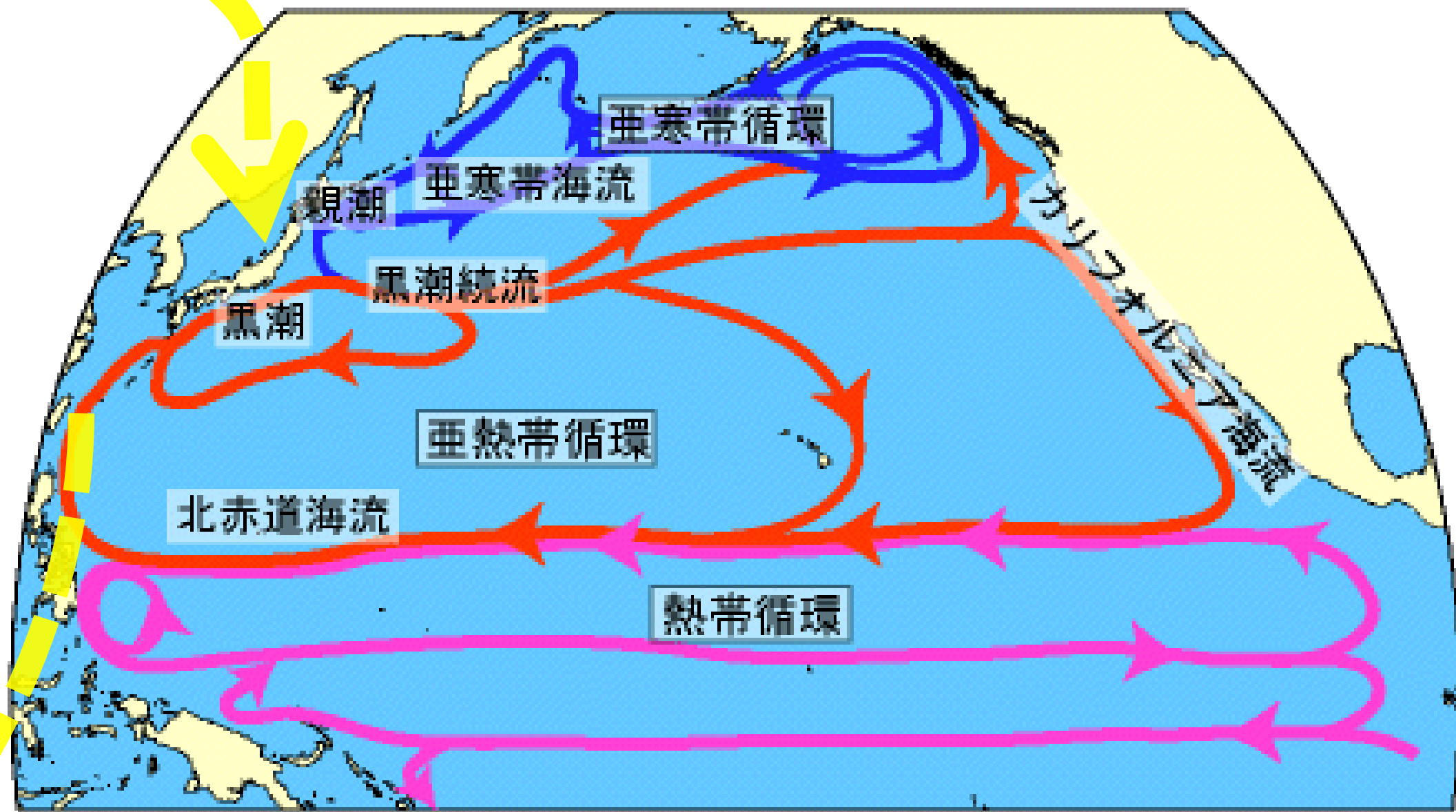
気仙沼水産試験場

宮城県



東日本大震災の津波により流出し、行方不明に・・・

直線距離約2,200km!!



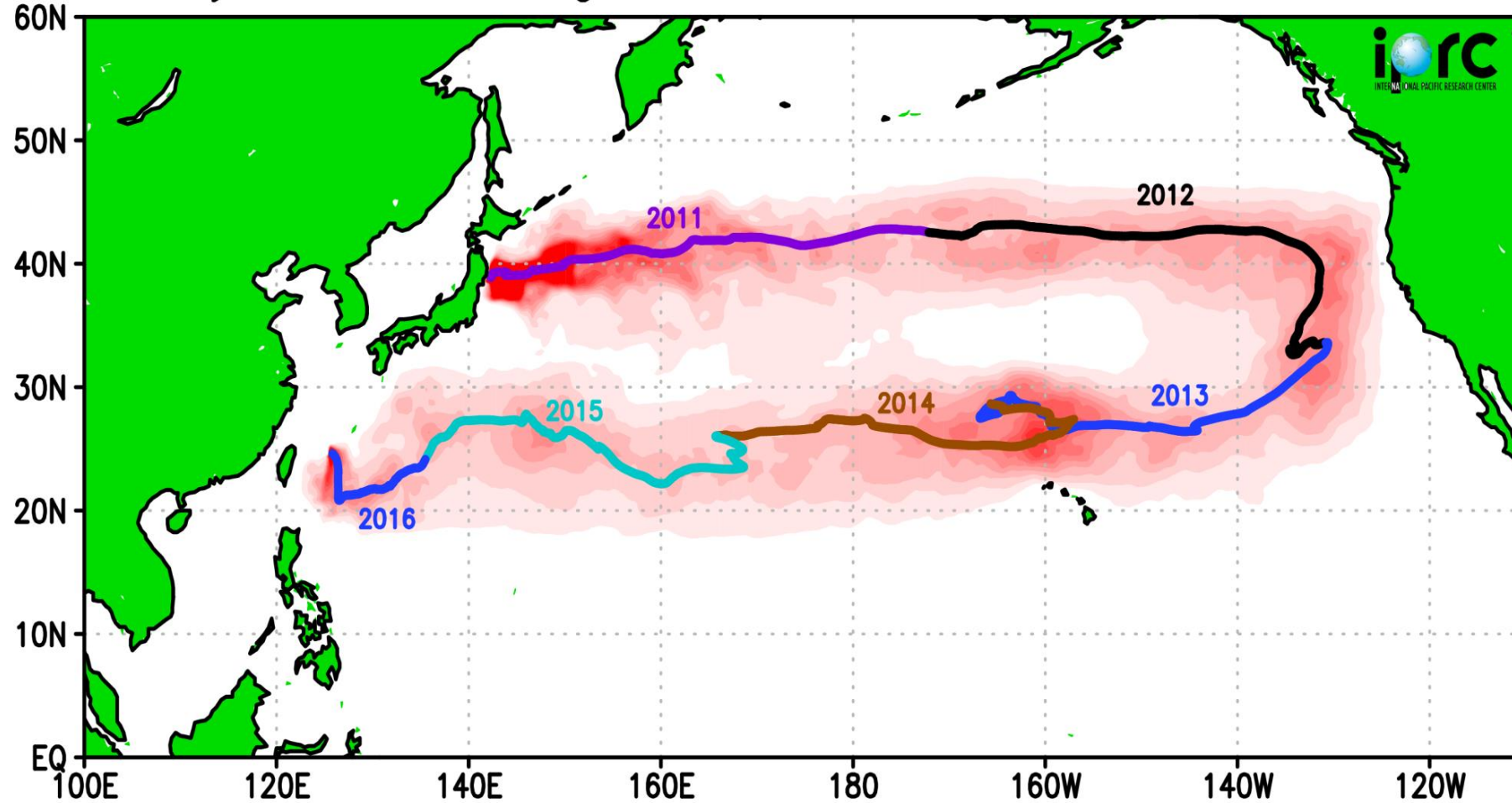
九州

宮古島

沖縄県

海洋表層の循環の模式図（気象庁HPより抜粋）

Kaisyou Boat windage=1.6% 2011-03-11 - 2016-05-12



シミュレーションで計算された「海翔」の漂流経路（ハワイ大学国際太平洋研究センターMaximenko博士・Hafner博士提供）



5年3ヶ月ぶり気仙沼水産試験場へ戻ってきた「海翔」の写真



5年2ヶ月ぶりに発見され、宮古島博愛漁港に陸揚げされた「海翔」の写真（海保撮影）

海流、風や過去に発見された漂流船のデータからシミュレーションしたところ、震災後2年でアメリカ西海岸付近まで流された後、3年5ヶ月かけて沖縄県宮古島付近まで流れ着いたことがわかりました。  
 海翔は、平成28年6月8日に開催された気仙沼水産試験場の竣工式に合わせて、5年3ヶ月ぶりに帰還することができました。